

# 令和5年度第4回社会教育委員の会議

令和5年8月21日（月）午前9時30分から  
市役所第二庁舎 8階・801会議室

## 次 第

### 1 議題

- (1) 会議録の承認について
- (2) 第4次小金井市生涯学習推進計画の評価について（令和4年度分）
- (3) 全国大会等に参加する団体への補助金交付について
- (4) 第31期社会教育委員の会議について（まとめ）

### 2 報告

- (1) 管外視察研修について

### 3 資料

- (1) 令和5年度第2回社会教育委員の会議会議録 【資料1】
- (2) 第4次小金井市生涯学習推進計画の評価について（令和4年度分） 【資料2】
- (3) 全国大会参加団体への補助金交付について 【資料3】
- (4) 第31期社会教育委員の会議について（まとめ） 【資料4】
- (5) 社会教育委員西東京市、小平市視察研修報告 【資料5】

## 令和5年度第2回社会教育委員の会議

令和5年5月22日(月)

午前9時30分開会

開催日時	令和5年5月22日	開会 9時30分 閉会 11時00分	
場 所	小金井市役所第二庁舎8階801会議室		
出席委員	議 長 柴田 彩千子 副 議 長 福井 高雄 委 員 石原 芳 委 員 富田 謙次郎 委 員 諏訪 啓二郎	委 員 金澤 大恵 委 員 北澤 隆司 委 員 森本 榮子 委 員 鈴木 哲也	
説明のため出席した者の職氏名	生涯学習部長 梅原 啓太郎 生涯学習課長 三浦 真 図書館長 内田 雄介		
事務局	生涯学習係長 倉澤 淳子		
傍聴者人数	1人		

日程	議 題	
第 1	協 議 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 会議録の承認について</li> <li>(2) 管外視察研修について</li> <li>(3) 社会教育関係団体への補助金交付について</li> <li>(4) 地域文庫補助金交付について</li> <li>(5) 第31期社会教育委員の会議のまとめについて</li> <li>(6) その他</li> </ul>
第 2	報 告 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 今後の会議等の日程について</li> </ul>

柴田議長

皆さん、おはようございます。

これから令和5年度第2回社会教育委員の会議を始めたいと思います。よろしくお願いいたします。

本日は、諏訪委員と黒木委員から遅れて御出席という御連絡をいただいております。それから、鈴木委員に関しましては遅れていらっしゃるかと思えます。

定員が充足されていますので、始めさせていただきたいと思えます。

まずは、資料の御説明をお願いいたします。

倉澤生涯学習係長 では、御説明いたします。お配りしておりますのが、本日の次第、ホチキス留めのものが本日の資料でございます。通しで両面印刷させていただいております。資料1が令和5年度第1回会議の会議録、資料2が管外視察研修の行程表（案）、資料3が社会教育関係団体補助金交付申請一覧と要綱、資料4が地域文庫補助金交付内訳と要綱、資料5が第30期社会教育委員の会議のまとめ、資料6が令和5年度生涯学習部予算概要、その他、委員の皆様にも月刊こうみんかん5月号をお配りしております。

その他、本日、柴田議長より「コミュニティ・スクールってなんだろう？」のパンフレットをいただいて、お配りさせていただいております。

資料の説明は以上です。

柴田議長

ありがとうございました。皆様、お手元の資料はそろっていらっしゃいますでしょうか。ありがとうございます。

では、議題に入りたいと思います。

まずは、議題（1）会議録の承認につきまして、事務局からお願いいたします。

倉澤生涯学習係長 資料1を御覧ください。こちらは、令和5年度第1回の会議録でございます。事前に、委員の皆さんに修正していただき、確認していただいているものです。よろしければ、本日、御承認をいただ

ければと思います。

以上です。

柴田議長            こちらの会議録につきましては、事前に皆様にお目通しいただいていると思いますが、よろしいでしょうか。

では、こちら、承認されました。

次に進みたいと思います。議題の2番です。管外視察研修についてです。こちらにつきましても、事務局から御説明お願いいたします。

倉澤生涯学習係長    資料2を御覧ください。7月の管外視察研修について御説明いたします。

日程のほうは、一番出席できる委員の皆様が多かった7月5日水曜日に決定いたしました。

前回の会議で決めていただきました清瀬市と西東京市に依頼をいたしました。その結果、清瀬市さんは受入れが難しいということでした。伺った理由としましては、昨年度はコミュニティハウスを活用した地域学校協働活動はなかったということで、今年度につきましてはまだ検討中であり、視察を受け入れられる状態ではないという御説明をいただいております。

事務局で判断させていただいて、その後、小平市のなかまちテラスに依頼をさせていただきまして、今回は西東京市と小平市を視察することとさせていただきたいと思います。

当日の行程は表のとおりとなっております。当日はマイクロバスで移動しますので、12時50分に市役所本庁舎の駐車場にお集まりいただきたいと思います。

本日、現時点で出欠を確認させていただければと思います。よろしく願いいたします。

柴田議長            御説明をいただきまして、ありがとうございました。

こちらの件につきましては、御質問や御意見ございますでしょうか。  
鈴木委員。

鈴木委員            御調整ありがとうございました。

明保中学の管外視察の件ですが、1つ皆様に御報告があります。

校長の宮本先生がこの4月に立川四中に異動されました。管外視察先として御提案した理由は、委員の皆さんに宮本先生の取組やお考えについてお話を聞いていただくことも大変重要なポイントでした。

僕、簡単に諦めないほうなので、立川四中へ伺ってお話をぜひ聞かせていただきたいと、先生に直接お願いをいたしました。そうしましたところ、学校へ来ていただければ喜んでお会いするということでしたので、もし希望される方がいらっしゃれば、管外研修とは別の形で機会を設けさせていただきたいと思います。

ちょっと補足ですけれど、赴任先の立川では、中学生が地域について調べた学習成果等を、モノレールの駅で自分たちでアナウンスするなどの企画を既に進めていらっしゃるとおっしゃっていました。子供たちに何で多くの体験機会を設けるのですかとお尋ねしたところ、家庭でも地域でも大人に愛された子たちは、下の子たちを大切にすると。こうやって人のつながりが地域でできていくのですというお話をされておられました。素晴らしい方ですので、ぜひお話を聞きに行きたいと思います。

以上です。

柴田議長

ありがとうございました。

ほかに御質問や御意見ございますでしょうか。金澤委員。

金澤委員

何か特別な持ち物など、もしやっておいたほうがいいことがあれば、教えてください。

柴田議長

事務局からお願いします。

倉澤生涯学習係長 特に持ち物などは必要ございませんので。

金澤委員

初めてで、すみません、分かりました。ありがとうございます。

柴田議長

ほかに、御質問、御意見ございますでしょうか。

森本委員

鈴木さんの先程の四中の校長先生とは、既に御予定とか日にちは決まっているのでしょうか？。

鈴木委員 いえ、まだです。

森本委員 まだ、そこまでは話していない？

鈴木委員 まだです。有志の方、希望の方がいらっしゃれば調整して。

森本委員 はい、分かりました。

鈴木委員 うちの車は8人乗りですので、7人乗れます。

柴田議長 立川第四中学校ですね。

鈴木委員 はい、そうです。

柴田議長 関心のある方はぜひ鈴木委員に御連絡をお願いします。

立川市は全校コミュニティ・スクールを設置しておりまして、学社一体という、学社連携ではなくて学社一体というスローガンの下に、コミュニティ・スクールの施策を進めているところです。

では、福井委員、お願いします。

福井委員 金澤委員から「何か資料は」ということだったんですけど、2か所目に行く小平市なかまちテラスというチラシが以前配られていますから、これを目通しをされて、私も持って行く予定ですけど、持って行かれたほうが参考になると思います。

以上です。

金澤委員 そうですね、分かりました。そういたします。ありがとうございます。

柴田議長 ありがとうございます。

ほかに御意見、御質問ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

では、出欠の確認をさせていただきたいと思います。当日、御出席される方は挙手をお願いいたします。

(出席者挙手)

柴田議長 全員です。ありがとうございます。今日、御出席の方は全員、管外視察へも御出席ということで承りました。

ほかに御質問、御意見ないようでしたら、次に進みたいと思います。

では、議題（３）番です。社会教育関係団体への補助金交付についてです。こちら事務局長より御説明をお願いいたします。

倉澤生涯学習係長 御説明いたします。資料３を御覧ください。本年度の社会教育関係団体への補助金交付予定一覧でございます。

社会教育関係団体に対して補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ社会教育委員の会議の意見を聞いて行わなければいけないと社会教育法で定められておりますので、議題とさせていただきます。

実際の補助金の交付は、小金井市社会教育関係団体補助金交付要綱に基づき行っております。

補助の対象となる団体は、社会教育関係団体として登録してから１年以上の実績があり、かつ構成員の２分の１以上が市内在住、在勤、または在学の団体です。

１団体につき５回が補助の上限となっております。

あわせて、小金井市立小中学校ＰＴＡ連合会と小金井市スカウト協議会についても補助申請が出ております。こちらについては、小金井市補助金交付規則に基づいて交付しているものです。

説明は以上になります。

柴田議長 御説明ありがとうございました。

こちらの件につきまして、御意見、御質問ある方は挙手をお願いいたします。福井委員、お願いします。

福井委員 事務局に確認します。団体名の上段の１行目の黄金ネットワーク、第２３回クリスマス会と書かれているんですけど、令和４年度と同じ資料なんですけれど、回数が第２４回クリスマス会が令和４年度で発行されているんですけど、２５回に修正かと思うんですけど

ど、いかがでしょうか。

倉澤生涯学習係長 その件につきまして団体に確認したところ、令和2年、令和3年も同じようにクリスマス会を開催予定だったところですが、交付申請をした後にコロナの状況で中止したという経緯がございまして、今回が23回で正しいということで確認しておりますので、御了承いただければと思います。そのことが原因で2回分ずれてしまっているということです。令和4年度にお配りした資料のほうは22回だったということで御了承いただければと思います。

柴田議長 よろしいでしょうか。

福井委員 あともう1点。補助金の対象の団体は、継続した場合は3年が限度という理解で4年目は打切りですか。

倉澤生涯学習係長 5回が限度です。

福井委員 黄金ネットワークは今回が2回目という扱いでしょうか。

倉澤生涯学習係長 今までの交付が平成30年、令和元年、令和4年と交付しておりますので、今回は4回目です。

福井委員 4回目。分かりました。

柴田議長 ほかに御意見や御質問ある方。富田委員。

富田委員 補助対象事業の中で、下から2番目のPTA連合会から出ている児童生徒の健全育成及び環境整備と入っているんですが、具体的にはどんな整備をされるのか、ちょっと教えていただけますか。

倉澤生涯学習係長 内容は、児童生徒の健全育成、非行防止、交通安全運動、また研究会等の開催を通じて保護者と教職員が研さんする、学校の施設設備の充実、教育環境の整備に努める、その他、今回、PTA連合会の目標に合致する事業への参加援護となっております。

そういったことが対象になっておりまして、具体的には、支給し

ます15万円のうち、内訳が、事業費が8万5,000円、運営費が1万円、印刷費が5万円、消耗品費5,000円の合計の15万を補助しております。

一番大きなものは事業費ですが、こちらの主な用途は各PTAの部会交流会、あと講演会の開催費などに当てた補助となっております。

説明は以上です。

柴田議長 よろしいでしょうか。

富田委員 ありがとうございます。

柴田議長 福井委員。

福井委員 ちょっと詳細で文字だけの話なんですけれど、下段の団体名の隣に、補助対事業となっていますから、対象事業として修正していただきたいと思います。

倉澤生涯学習係長 ありがとうございます。

福井委員 令和4年度も同じ内容でしたから、多分、そのまま添付されたと思いますけれど、次回以降は対象事業という形で記載してください。以上です。

柴田議長 ほかに御意見、御質問ありましたらお願いします。よろしいでしょうか。

では、こちら、承認されました。

では、続きまして議題(4)です。地域文庫補助金についてです。こちらは、図書館長より御説明をお願いいたします。

内田図書館長 それでは、地域文庫補助金交付について御説明申し上げます。

図書館で所管いたします地域文庫補助金につきましては、社会教育法の第13条によりまして、社会教育委員の会議の御意見を伺った上で、交付決定等を行うよう定められております。

図書館では、小金井市地域文庫補助金交付要綱に基づきまして、

読書普及活動の活発化を図るため、図書及び読書に関する研究、調査、相談、講習、その他の活動を行い、地域社会に奉仕する地域文庫に対して、補助対象経費の2分の1を限度、補助上限額は3万円として補助金を交付するものでございます。

令和5年度の地域文庫補助金につきましては、小金井市子ども文庫サークル連絡会から申請が出ております。小金井市子ども文庫サークル連絡会は、地域で活動している文庫サークル7団体で構成されており、子どもと本を結ぶという事業に対して補助金を交付するものでございます。

この子ども文庫サークル連絡会では、例年、講演会や講座など、大人から子どもを対象としたイベントを実施されておりまして、その事業に対して本補助金を交付しております。

説明は以上でございます。

柴田議長

御説明いただきまして、ありがとうございました。

では、本件につきまして、御意見、御質問のある方は挙手をお願いいたします。福井委員、お願いします。

福井委員

事務局に確認しますが、地域文庫補助金で、この団体名が去年も申請されて同じ金額が交付されているんですけど、例えば、対象になる地域文庫補助金の団体というのは何団体ぐらいお考えかどうか、お聞きしたいと思います。

柴田議長

事務局、お願いします。

内田図書館長

現在、1団体で、ここに7つのところが加盟しておりますので、そこで内部で配っていただく形になりますけれども、何団体というのは、市内に何団体あるかということですか。それは申し訳ないですが、ちょっと把握していない状況です。

福井委員

逆に、この補助金が出るというのを知らない、こういう文庫関係の団体もあるかも分かりませんから、ぜひ、その辺の広報を含めて、補助金が出るよということも示されたほうがいいんじゃないかと思えます。

内田図書館長      こちらに関しては市報とホームページで一応、広報はしているんですが、御存じないところもあるかもしれませんので、そこは鋭意気をつけたいと思います。

福井委員            お願いします。

柴田議長            ほかに御意見、御質問のある方、挙手をお願いします。よろしいでしょうか。

では、本件につきまして承認されました。

では、次に、議題（５）です。第３１期社会教育委員の会議のまとめについてです。こちら事務局より御説明をお願いいたします。

倉澤生涯学習係長   資料５を御覧ください。お配りしているのは第３０期の小金井市社会教育委員の会議のまとめです。

今期、皆様、３１期につきましても、本日と、７月の視察を挟みまして８月で任期の最後の会議ということになります。任期ごとに定例といいますか、次の期に引き継ぐという意味で、こういった会議のまとめを作っていただいております。提言を出していただくときもあります、何か期としてまとめというものをつくっていただいております、今回３１期についても御検討いただければと思います。

柴田議長            御説明ありがとうございます。今期、第３１期もこのようにA4、1枚程度に社会教育委員の会議のまとめをまとめることになっております。

こちらの資料５は、前の期、第３０期の委員の方々からの申し送り事項でございます。最後の「来期の委員の方へ」というところを御覧ください。こちらにありますように、第３０期のほうでは、第４次の生涯学習推進計画の策定を中心に会議を行っております、今期に期待されている活動内容としましては、小金井市での地域学校協働活動について、今後もさらに実施校が増えていく中で、小金井スタイルというものを生かした学校と地域の連携をどのように実現できるかについて、継続的に検討をしていただきたいという申し送りがございましたので、こちらに沿って、今期のまとめをつくることになろうかと思っております。

この件につきまして、まとめ方の方向性など、御意見ございましたら、この場で承りたいと思います。御意見ある方、挙手をお願いしたいと思います。福井委員、お願いします。

福井委員

来期の引継ぎ事項ということで、なかなかすぐ、今日の出席の皆さんが御回答しにくい面も多々あると思いますから、事務局のほうで、例えば、期間を1週間なり、10日なり設けて、事務局のほうに投稿してもらおうという提案も1つあるんじゃないかと思いますし、今日、御意見される方はしていただいて、事務局のほうでまとめるといふ方向がいいんじゃないかと思います。

私から、引継ぎ事項として一番下を書いてある内容として、2点あるんですけど、ぜひ、来期の引継ぎ事項として、地域学校協働活動の推進ということで、小金井市の公立小中学校はスタートしておりますから、できましたら社会教育委員として、生涯学習推進活動をやっているコーディネーターとの連携をより深める、またできるなら支援する取組が必要じゃないかということで、引継ぎ事項の1点目を提案したいと思います。

2点目は、第4次生涯学習推進計画で5年計画をつくりまして、今年はちょうど3年目に当たるんですけど、1回だけ森本委員から、この第4次の生涯学習推進計画の100年計画のことでお話しされたことがあったんですけど、我々がやっている生涯学習推進計画書の中の施策の方向性として3つの大きなくりがあるうちの2番目に書かれているのが、地域とともにつくる生涯学習ということで生涯学習の内容を検討しているんですけど、あと2つの誰もが生涯学習に親しむということで、公民館・図書館の利用という面の、社会教育施設の利用というような内容の議論はしていないというのと、3点目の生涯学習のネットワークづくり、情報発信体制の充実ということが課題であり、一切話されていないものですから、できましたら、最後の2つの生涯学習の取組ということで、来期の検討事項ということで提案したいと思います。

以上です。

柴田議長

御意見ありがとうございました。福井委員の今の意見に関連しての御意見でも結構ですし、ほかに御意見ということでも結構ですので、何かございますでしょうか。挙手をお願いしたいと思います。

鈴木委員。

鈴木委員

これは、僕が社会教育委員をやらせていただく前の期の方々がお決めになったことだと思うんですね。小金井スタイルを生かした地域との連携をどのように実現できるかについて、社会教育委員の会議として検討をし、より具体的な取組について検討しと書かれているんですけど、委員として参加させていただいて9月で2年になりますが、福井委員も今おっしゃっていたように、取組の具体化についてはあまり進展していないんじゃないかなと感じています。検討ばかりしていても、何も実現はできないと思いますので、そろそろ具体的に動いたほうがいいんじゃないかなと思います。

それで、社会教育委員にならせていただいてから、明保中の話もそうですけれど、幾つかCSの会議も前回の会議以降傍聴させていただいて、そこで思ったのはCSと一くくりにしても、学校や地域によってCSに求められていることが随分違うということです。

つまり、この会議として何かを行おうとすれば、市内のいろいろな地域で活躍していらっしゃる方の話を聞くことがもうマストで、聞かねばならないというようなことじゃないかなと思っています。ここまでが意見です。

これ、意見がなければ……、意見の後で結構ですけど、ここからはお尋ねで、先週と先々週、2度、週末、南小にお邪魔してPTA関連の総会後に行われるワールドカフェに参加をしてきました。その場に、梅原部長も図書館長も公民館長もいらしたと思うんですけど、もしよろしければ、あのような形で多くの方が話し合う機会について、もうコロナは明けましたし、その件についてどのような御感想を持たれたか、お聞かせいただければと思います。よろしくお願いします。ほかの方の御意見がなければ、その後でということをお願いします。

柴田議長

いかがでしょうか。では、生涯学習部長から御意見をいただきたいと思います。

梅原生涯学習部長 つい2日前、土曜日に私も参加させていただきまして、この中でも石原さんと鈴木委員、黒木先生もいらっしゃいましたかね。ということで、南小の体育館で、大変大勢で、保護者の方と校長先生、



せて頂きましたので思い入れがあります。先ほど鈴木委員がおっしゃいましたように、もう推進計画を作ってから3年たとうとしております。小金井市での地域学校活動について今後さらに小金井スタイルを生かした学校と地域の連携をどのように実現できるか、この実現に向けて何をするか、立派な冊子をいかに生かしていくかという、より具体的に取り組んでいく方策を私たちが考えて、今期のまとめになるといいなと思っております。

第4次の生涯学習推進計画の策定について、先ほど福井委員がおっしゃいましたように、誰もが生涯学習に親しむ環境というのと、ともにつくる生涯学習ということ、それから、ネットワークづくりという3つがございました。

これまで、生涯学習活動ができなかった人たちも積極的に参加して、0歳から100歳までの生涯にわたって学び続けられる環境づくりを目指すことを基本理念として定め、そこに向かって活動が進められてきたこと、私は策定に関わった1人として大変うれしく思っております。それが、もっともっと具体的な形として見えてきたらうれしいなと思っております。

それから、第3次の小金井市生涯学習計画の評価のところもあったと思いますけれども、これについてB評価というのは、アフターコロナになった今、次期にはA評価になるようにと願っておきます。

それから、東京都の社会教育委員連絡協議会の中で、第5ブロックの幹事会のときでしたか、結城座のあやつり人形の公演を見ました。応援していけたらいいかなと思いました。

それから、生涯学習支援センターについては、その必要性について大事なことだと思います。積極的に進めていくべきだと思っております。

地域学校協働活動についてですけど、支援や運営に関わっていらっしゃる方々が、とてもすばらしい活動をしていますので、もっと広がっていくといいのではないかと感じたのをここでお伝えさせていただきます。以上です。

柴田議長

御意見ありがとうございました。ほかに今期の御感想や来期に向けての御意見などありましたら、挙手をお願いいたします。

鈴木委員、お願いします。

鈴木委員

先ほどのワールドカフェの話の続きなんですけれど、いろんな人の話を聞くという機会を設けるということですけど、南小に、この分野に明るい村上先生が戻っていらっしゃったということで、風越学園のほうへ行かれたりして積極的に動かれている方ですけど。小金井には本当にいろいろな実力のある人がいて、何というか、うまく連携できていない部分というか、この人たちをほっておくのはもったいないと思っているんです。はた目に見ていると、原っぱにダイヤモンドが落ちているけど、原っぱが邪魔で誰も気がつかないみたい。それぐらい本当にすごい人だなと思う人たちがいるので、この人たちをうまくつないでいけるようになれば、それはもっといいんじゃないかなと思っていて、社会教育委員の1つのテーマじゃないかなと思っています。

それで、コーディネーターさんが今、中心になっていろいろなことを調整してくださっているんじゃないかなと思って、皆さんすごい方なんですけど、コーディネーターさん頼みということではなくて、もうちょっと、前回の会議の石原委員がおっしゃっていた部活の指導者のこともそうなんですけれど、うまく必要な人に地域でつながっていけるような仕組みというのができればいいなと思っています。

だから、次期、9月からになるのかと思いますけど、もうちょっと、この辺の具体的な話を、どんなふうにしていけばいいのかなというのができればいいなと思っています。

以上です。

柴田議長

ありがとうございました。

ほかに御意見ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

今、いただきました御意見ですけれども、第4次の生涯学習推進計画で3つの方向性がございます。資料の上段のほうに書かれたものですけれども、こちらを実現すべく、来期は特に今、皆様からいただきました御意見としましては、地域学校協働活動やコミュニティ・スクールに関しましては、コーディネーターとの連携や支援ということや、取組を具現化してという意味で、先ほど南小のワールドカフェの事例が挙げりましたが、恐らく、これからこういうカフェ形式とか、あと熟語と言われている話し合いを各学校が実施して

いくことになるのではないかと思います。南小の場合は児童は入っていなかったんですか。

鈴木委員           今回は入っていませんでした。

柴田議長           入ってなかったんですね。

鈴木委員           児童が入れば、なお                   ます。

柴田議長           そうですね。様々な層の学校に関わる方々との情報交換会であるとか、それから地域の情報を収集する場として機能していけばいいと思いますけれども、こういった意味で、生涯学習支援センターがしっかり機能していけば、コーディネーターさんにとっての情報の源泉になるので、コーディネーターの役割をより果たされるものと思いますので、引き続きまして、生涯学習支援センター機能の必要性というものも継続で訴えていければと、私個人としては思っております。

来期の委員への引継ぎ事項につきましては、次回の8月の会議で、こういった資料、A4のものを原案として、事務局のほうと検討しまして出させていただきたいとは思いますが、皆様、今日、数名の方から御意見賜りましたけれども、次回、こちらの原案に基づきまして補足をしていただいたり、次回の8月の会議では今期の総括という位置づけになるかと思っておりますので、皆様から今期の皆様の活動の振り返りをいただければと思っておりますので、御準備をいただければと思います。

このような進め方でよろしいでしょうか。

三浦生涯学習課長   議長、できれば、皆様、個別に御意見がある方もいらっしゃるかと思うので、先ほど副議長から御提案がありましたとおり、6月15日ぐらいまでに何かありましたら事務局のほうにメールベースでいただいて、集約させていただきたいと思っております。

その後、議長のほうに、こんな形で皆様からメールがありましたという形でお流しをさせていただいて、8月15日には一定、成文化したものを皆様にお示しする段取りで進めてまいりたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

柴田議長

はい、よろしくお願いいたします。

では、6月15日という期限が一応ありますので、6月15日までに事務局までメールでお知らせいただければと思います。よろしくお願いいたします。

三浦生涯学習課長 よろしくよろしくお願いいたします。

柴田議長

では、議題につきましては以上でございます。

ほかに、その他としまして、何かございますでしょうか。事務局のほうから何かございますでしょうか。

三浦生涯学習課長 第1回目の会議のときに、予算の概要について、私のほうからざっと御説明してしましまして、資料がないのに分かりにくいという御発言いただきまして、大変申し訳ございませんでした。

資料6のほうを御覧ください。こちらが令和5年度生涯学習部の予算の概要になってございまして、第1回目で説明させていただいた事項を一表化したものでございます。

上のほうから御覧いただきまして、社会教育費というのは社会教育費、図書館費、公民館費の全体でございます。予算額が7億5,777万9,000円となっておりまして、前年に対し3,092万8,000円の増ということになってございます。

保健体育費は体育、保健、スポーツ団体に係る保健体育そのものに係る予算でございます。こちらにつきましては、ちょうど昨年度から大きく数字はへこんでございすけれども、総合体育館の大規模改修工事が終了したことによるもの等々でございます。

主な事業につきましては、そちらの表の中を御覧いただければと思います。

説明につきましては以上でございます。前回、大変失礼いたしました。

柴田議長

御説明ありがとうございます。

では、その他の事項としまして、こちらの前回会議の令和5年度生涯学習部の予算の概要説明を改めていただきました。こちらにつきまして、皆様から御意見、御質問など、さらにございましたら、

お願いいたします。

富田委員

今の資料6なんですけれども、一番下の図書館のところに、レイアウト等の変更委託料260万円あるんですが、これは、メインは盗難及びトラブルをなくすということになっているんですが、例えば、盗難の部分でどれぐらいの損失ができるとか、それから、こういうふうなトラブルが発生しているんですよ、近くあることによつてとか。何か具体例があれば教えていただきたいと思うんです。

それが1つと、それから私、緑センターを結構利用させてもらっているんですが、今度、緑センターが外部委託になるという話があって、今度の28日に説明会があるらしいんですけれども、あのチラシを見ると、メインは経費の節減だというふうになっているんですが、社会教育委員会のほうの基本的な方針として、いかにこの施設の利用者を増やそうかというのが非常に大きな命題になっていると私は考えているんですけれども、それと経費の削減と何か関連性はあるのかなど。それをやることによって利用者が増えるのかな、また、経費の節減はどれぐらい削減されるのかなというふうなものも併せて、もし何か実例を持たれてたら教えていただきたいんですが、よろしくお願いいたします。

内田図書館長

まず、レイアウト変更に伴う具体的なトラブルというところですけども、今、死角が非常に多い状況なので、書籍の盗難というのが年間で80万から……。

富田委員

円ですね、それ。

内田図書館長

円です。今、非常に死角の多いレイアウトを見通しのいいレイアウトに変えたいというところがございます。

あと、経費節減というのは委託する以上、行政改革というところで図っていかなきゃいけないことですので、それは当然のことだと考えておまして、現段階でということで申し上げるのであれば、緑センターに関しては、開館時間が午前10時から午後5時になっております。これを、委託に伴うところで午前9時から午後7時まで延ばしていきたいというところ、ほかの分館、貫井北と東がそういう形で既にやっておりますので、図書館協議会のほうに諮問

させていただいたところ、ほかの分館に合わせたほうがいいというところで御答申もいただいています。開館時間の拡大というのは市民要望も非常に高いところもございましたので、立地的なところで緑をどれほど利用されるかというのはあるとは思いますが、そこはご要望に応じていきたいと思っております。

柴田議長 富田委員、いかがでしょうか。

富田委員 何となく分かったような、ちょっとまだもやもやしている部分はあるんですけども、外部委託になると、もうほかのセンターで外部委託されているところがあると思うんですけども、その中でよかったからされるんだろうなという部分もあると思います。

それと、この中で、メインは死角をなくし、盗難と書いてあるんですが、盗難ってそんなにあるんですか。

内田図書館長 今申し上げたように、金額として返っていないのがそれだけありますし、いわゆる冊数で言うと、大体年間400冊ぐらいなくなっているんです。

富田委員 それがレイアウトの問題なのかどうなのかということをお伺いしているんですが。

それが、ここで260万円なんですけれどね。これが妥当なのかどうなのかと。もっとほかにやり方はないのかなと思ったりして。

内田図書館長 いろいろ検討はしたんですけども、現段階で一番適切なんじゃないかと。この間、私どもが巡回したり、職員の配置をいろいろ変えてみて、フロアの人数を変えたり、いろいろやったんですけども、まず、ともかく抜本的に死角が多い、ここをどうにかしないといけないというところがあると思います。

富田委員 まあ、あの棚を見たら、どうしても死角って出てきますよね。

内田図書館長 死角に関しては、どこの図書館も1つ大きな課題にはなっています。その中で、お気づきのように、いろんな図書館に行くと、最近では書架の高さが胸の高さだったり、要するに、見通しがいいという。

ただ、書籍の量がうちは非常に多く抱えていますので、そう簡単に書架の高さを低くできません。まずともかく死角をなくしたいという思いがございます。今回、この措置を取らせていただきます。

富田委員 長々とどうもありがとうございました。

柴田議長 ほかに御意見などございましたら、お願いします。よろしいでしょうか。

鈴木委員 これは、この件、図書館の件についてですか。

柴田議長 資料6の生涯学習部の予算です。

鈴木委員 資料6についてですね。

柴田議長 よろしいですか。

鈴木委員 大丈夫です。

柴田議長 では、資料を御用意いただきましてありがとうございました。その他ということですが、引き続き、何かございますか。

鈴木委員 鈴木です。先日来、事務局の倉澤さんにお調べいただいていた学校支援ボランティアのことなんですけれど、事務局もお忙しいと思いますので、自分で少し調べてみました。176名、令和3年度は学校支援ボランティアについて、登録の方がいらっしゃるようなんですけれど、謝金として500円の図書券をお支払いしている方というのは65名ほどということでした。ただ回数は928回活用していただいている、かなり使っているんだなというところが印象です。

ある小学校の校長先生にお尋ねしたところ、その謝金で渡すカードが足りなくなる、全体として928回使えているみたいですよというお話をしたところ、印象的には図書のカードはそんなにないんじゃないかと。頻繁に使っている学校に使っていない学校のを融通するとか、そういった形でやっているのではないかという御意見で

した。それで、この176名中65名ということは、100名以上の方が登録されているけど、実際に何の活動もされていないということになるのかなとちょっと思いました。

それで、この内訳なんですけれど、データベースのようになっているのではなくて、登録されたものをそのままファイリングされているという形で、都度ごとに学校へ交換便のような形でお送りされているということでした。あと、そこから先の判断は、誰に何を頼むかというのは、学校の判断で頼んでいるので分からないということでした。ひとつ、もう少しここからこれを深めて、先日来提案している人材バンクとか、人がつながりやすい仕組みに生かしていきたいと考えます。

それで、この176名のファイリングは個人情報も入っていて、委員としては見られないので、お手数なんですけど、このうちの内訳のようなものというのをちょっとお調べいただくことってできるでしょうか。お尋ねです。例えば、地域の方なので大学生何名みたいな形でも構わないんですけど。あとは、学習支援ボランティアの希望されているジャンルのようなものまで分かれば助かるんですけど、どうでしょうか。

倉澤生涯学習係長　こちらの学校支援ボランティア登録の管轄は指導室となっていてございまして、先日そういったお問合せが鈴木委員からありましたので、学生とそれ以外の地域の人で分けられるかというのを相談してみたところ、ちょっと難しいという回答をいただいております。

また登録用紙は単年度で全て廃棄しているもので、そういう代々のデータもないということでした。

鈴木委員　じゃ、これは直接、指導室のほうと話をしない限り難しいということですかね、自分で出向いていってお願いするとか、御相談するような形で。ただ、ちょっと見せてもらえない、個人情報が……。

倉澤生涯学習係長　そうですね。

鈴木委員　申請用紙そのものがファイリングされているようなので、できればそこが分かると、もうちょっと半歩ぐらい、先ほどお話にも出ていた地域とか、いろんなことの連携というものに役立つものになっ

ていくんじゃないかなと思うんですけど。何かそこ、うまい方法ないですか。

三浦生涯学習課長 まず、ファイリングがこうなっているのはそのとおりだと思います。それを公開する前提に集めてはございませんので、個人情報が入っているというところで、それを委員の方々にお見せするところまでは少し難しいかと思います。あとはそのカテゴリ別にどういう形態でということですが、指導室のほうと話してみないと、今どんな形でということまではお約束ができません。

ただ、事務方のほうに調べたところだと、単年度廃棄ということになってございますので、積み上げていったデータは今のところないということまでは整理できると思います。

なので、少しお時間をいただいて、どんな形で、どんな御要望があつてということまでですか、今日の段階ではですけども、生涯学習課のほうで1回受け取りたいと思います。

鈴木委員 ありがとうございます。

柴田議長 その他につきまして、ほかに何かありますでしょうか。よろしいですか。

最後に私からなんですが、皆様に配付させていただいている、こちらの冊子なんですけれども、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動につきまして、一般の住民の方々や保護者の方々が、そもそもコミュニティ・スクールって何だろうという疑問をお持ちであるという調査結果が出たということ根拠にしまして、学生と一緒に学生目線から、コミュニティ・スクールの仕組みについて、文科省の説明のものをもっと掘り下げて解説をつけたというものと、それからコミュニティ・スクールに関わっていらっしゃる小金井市の方々4名にインタビューをさせていただいた記事、この中には、黒木先生や金澤さんに御協力をいただいて作成しております。

それから、こちらのユーチューブ動画なんですけど、学生たちが自主制作した動画です。学校と地域連携することでこんないいことがあるよという動画をつくりました。全部で、地域住民編、保護者編、教員編とありまして、全部で15分ぐらいのもので、もしよ

ろしければ御覧ください。こちらの犬のキャラクターなんですが、コミュニティ・スクールのキャラクターでゆいまるというのを学生が考えまして、普及させていく上でのツールとして、このようなものをつくりました。

それから、この動画の中では、音楽専攻の学生が中心になってコミュニティ・スクールの歌というものを作詞・作曲しまして、楽しい歌になっておりますので、コミュニティ・スクールって堅苦しいものじゃなくて、楽しい、みんなが参加することに意義があって、楽しいものなんだということをまずは伝えたいということで、このようなものを製作しました。御覧いただければと思います。

それでは、最後に、今後の予定につきまして事務局よりお願いいたします。

倉澤生涯学習係長 では、次第の3番、今後の予定を御覧ください。次回、第3回の会議は管外視察となります。予定は本日御案内したとおりですが、何か変更等があれば、メールでお知らせいたします。また、本日出席とお答えいただいた方の中で、急遽欠席される場合は事前にお知らせいただければと思います。

最後、第4回会議が8月21日月曜日、こちらが31期として最後の会議となりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

柴田議長

ありがとうございました。

それでは、令和5年度第2回社会教育委員の会議をこれにて終了させていただきます。お疲れさまでした。

— 了 —

## 第4次小金井市生涯学習推進計画の評価について（令和4年度分）

## 1 評価の概要

第4次小金井市生涯学習推進計画は、誰もが生涯学習活動を通じてつながり、笑顔で過ごすことができるまちとなることを目指すと共に、これまで生涯学習活動をできなかった人たちも積極的に学習に参加し、0歳から生涯にわたって学び続けられる環境づくりを目指し策定した。令和3年度から令和7年度までの5年間の計画の期間としている。

本計画の進捗を測るにあたっては、社会教育委員の会議での検討を参考に、施策の方向性ごとに指標を設定し、施策が適切に推進されているかの目安とするとともに、3つの施策の方向性における全11の施策の柱を評価対象とした。

令和4年度については、新型コロナウイルス感染症により評価なしとした事業はなく、全てB評価（概ね達成している）以上であり、概ね生涯学習における事業を推進できているものと評価できる。

令和4年度はコロナ禍の影響は受けたものの、徐々に行動制限等が緩和され、各種講座やイベントが例年に近い形で開催できたことが高評価につながっている。

特に1-1「0歳から始まる生涯学習」、1-2「人生100年時代を楽しむ生涯学習の推進」、2-4「郷土の歴史や芸術・文化に親しむ機会の充実」では、基本的な感染症対策を講じながら幅広い年齢層を対象とした多彩な事業を多数行い、市民の生涯学習の機会を十分に提供したことが評価できる。

また、1-4「新しい日常、新しい生活様式を踏まえた学びの推進」では、図書館は電子書籍サイト充実を図り、公民館ではWi-Fi設備を利用し講座管理システムを導入するなど、引き続きICTを活用した事業を推進したことが評価できる。

なお、2-1「学校・地域が連携した生涯学習活動の推進」では、学校と地域人材、社会教育団体等がつながり、協力しあって地域全体で子どもたちの学びや成長を支えていく仕組みづくりが必要である。

今後は計画の推進及び事業目標の達成に向け、担当課を中心に関係機関と連携し、誰もが生涯学習活動を通じてつながりあえる環境づくりを行い、共に学び、笑顔で過ごすことができるまちとすることを旨とする。

## 2 評価基準

令和4年度分の第4次生涯学習推進計画の評価を実施するに当たり、評価指標は以下のとおりとした。

評価	評価基準	今後の事業展開（目安）
A	当該年度目標を達成している。	「拡充」又は 「継続（現状維持）」
B	当該年度目標を概ね達成している。	「継続（現状維持）」又は 「見直し（手法等）」
C	当該年度目標を達成したとはいえ ず、改善する必要がある。	「見直し（手法等）」
D	当該年度目標を達成することが できていない。又は事業に着手でき ていない。	「廃止（縮小）」

なお、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、当該年度目標を達成したとはいえない事業の評価指標は、以下のとおりとした。

評価	評価基準
α	新型コロナウイルス感染症対応の創意工夫がなされた取り組みとなっている。
—	上記以外

## 3 評価結果

		A	B	C	D	α	—
1-1	0歳から始まる生涯学習	○					
1-2	人生100年時代を楽しむ生涯学習の推進 ～子どもから高齢者まで～	○					
1-3	共生社会における生涯学習の推進	○					
1-4	「新しい日常、新しい生活様式」を踏まえた学びの推進	○					
2-1	学校・地域が連携した生涯学習活動の推進		○				
2-2	学びの継続と成果の活用の推進		○				
2-3	地域団体や学校との連携による学びの推進	○					
2-4	郷土の歴史や芸術・文化に親しむ機会の充実	○					
3-1	支援者の人材育成とコーディネート機能の充実	○					
3-2	社会教育施設等の活用の推進		○				
3-3	情報発信・相談体制の充実		○				
合計（事業）		7	4	0	0	0	0

## 施策の方向性 1 誰もが生涯学習に親しむ環境づくり

乳幼児とその保護者を対象とした学習メニューの提供をはじめ、子ども・青少年の居場所や体験機会の提供など、「0歳から始まる生涯学習」を支援する。

また、子どもから高齢者まで、「人生100年時代を楽しむ生涯学習」の環境づくりに向けて、市内関係機関等と連携しながら取り組む。

そして、障がいのある方もない方も、誰もが自分の状況に応じた学習に取り組めるよう、学習と交流及び社会参加の推進を図る。また、年齢、性、国籍などに関わりなく、たがいに人権を理解し、尊重し合える社会の実現に向けて、各種講座や教室、交流機会の充実を図る。

さらには、ICTを活用しながら多様な学習機会や学習情報を提供するとともに、様々なニーズに合わせた学習相談の場の充実を図るなど、誰もが生涯学習に親しむ環境づくりに向けて取り組む。

### 《施策の方向性 1 の指標》

	計画策定時 (令和元年度)	目標 (令和7年度)
直近1年間で生涯学習を実践したことがある市民の割合	31.2%	40.0%
図書館の貸出冊数	917,440冊	970,000冊
公民館が主催する講座数	124講座	139講座

### 《現状値》

	令和4年度	前年度 (令和3年度)
直近1年間で生涯学習を実践したことがある市民の割合	36.4%	29.4%
図書館の貸出冊数	956,024冊	1,012,188冊
公民館が主催する講座数	157講座	121講座

<b>施策の柱 1-1</b>	<b>0歳から始まる生涯学習</b>	【担当：生涯学習課・ 図書館・公民館】
<b>施策の説明</b>		
<p>乳幼児期は、自我や身体能力など、基礎的な発達に重要な時期である。母子・父子との安心できる環境のもと、様々な学びに取り組んでいくことで、心豊かで健やかな育ちにつながる。また、児童、青少年期には、学校教育を中心としながらも、自らの興味・関心に沿って、社会性や自立心を育む様々な生涯学習活動にチャレンジしていくことが期待される。</p> <p>小金井市では、子どもの権利を尊重し、乳幼児とその保護者を対象とした学習メニューの提供をはじめ、子ども・青少年の居場所や体験機会の提供など、「0歳から始まる生涯学習」を支援していく。</p>		

<b>令和4年度の目標【Plan】</b>
乳幼児とその保護者を対象とした学習メニューの提供をはじめ、子ども・青少年の居場所や体験機会の提供など、「0歳から始まる生涯学習」の支援に努める。

<b>令和4年度の取り組み【Do】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育学級、思春期子育て講座の実施（市立小中学校 計21回）</li> <li>・自然体験教室の実施（清里山荘 2回 参加者 88人）</li> <li>・乳幼児向けおはなし会の実施（図書館本館、東分室10回 参加者114人）</li> <li>・子ども体験講座の実施（公民館緑分館 3回 参加者68人）</li> </ul>

<b>令和4年度自己評価【Check】</b>			
<b>A</b>	<b>A</b>	達成している	<b>評価の理由</b> 家庭教育学級、思春期子育て講座、おはなし会については、基本的感染対策を実施した上で、例年に近い回数で開催することができた。 子ども体験講座については、公民館事業評価シートでいずれの講座も満点の評価を得ている。
	<b>B</b>	概ね達成している	
	<b>C</b>	達成したとはいえ、改善する必要がある	
	<b>D</b>	達成できていない。又は事業に着手できていない。	
	<b>α</b>	コロナ禍における新たな取り組みとなっている。	
	<b>—</b>	評価なし	

<b>今後の事業展開</b>	<b>改善策【Action】</b>
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持） <input type="checkbox"/> 見直し（手法等） <input type="checkbox"/> 廃止（縮小）	各事業とも、検温、手指の消毒、部屋の換気や密集を避けるよう努め、感染対策を徹底して実施した。今後も引き続き、利用者の利用が定着するよう、基本的感染対策を実施しながら各事業の広報等を行い、継続して実施していく。

<b>施策の柱 1-2</b>	<b>人生 100 年時代を楽しむ生涯学習の 推進～子どもから高齢者まで～</b>	【担当：生涯学習課・ 図書館・公民館】
<b>施策の説明</b>		
<p>医療の発達などに伴い、今後人生は 100 年時代を迎え、一人ひとりがこれまでの学び方や働き方をはじめ、リタイア後の生き方など、「生き方」を変化させていくことが重要になると予測されている。また、これまでのように、子どもから大人に向かって、就学、就職、リタイア、といった直線的なライフサイクルを描くだけでは、時代の変化に対応することが難しくなると考えられている。</p> <p>子どもから高齢者まで、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも学び合える「人生 100 年時代を楽しむ生涯学習」の環境づくりに向けて、図書館・公民館・スポーツ施設等をはじめ、市内の関係機関等と連携し、取り組む。</p>		

<b>令和 4 年度の目標【Plan】</b>			
<p>子どもから高齢者まで、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも学び合える「人生 100 年時代を楽しむ生涯学習」の環境づくりに向けて、図書館・公民館・スポーツ施設等をはじめ、市内の関係機関等と連携し、学びの推進を図る。</p>			
<b>令和 4 年度の取り組み【Do】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「豊かな生涯を運動・スポーツとともに」を基本理念とした第 2 次スポーツ推進計画を策定</li> <li>・図書の貸出冊数…933, 556 冊、団体貸出…延べ 225 団体、22, 468 冊（学級文庫や地域団体等へ）</li> <li>・幅広い年齢層に対して講演会や読書会等のイベントを開催（7 8 回、延べ参加者数 7 3 2 人）</li> <li>・公民館 3 館で実施していた農園事業を本館に一本化し、土起こしから収穫までを体験した。実施回数は、43 回であった。</li> </ul>			
<b>令和 4 年度自己評価【Check】</b>			
<b>A</b>	<b>A</b>	達成している	<b>評価の理由</b>  スポーツ関連事業では、感染症による中止・縮小等は少なく、一部を除き予定どおり教室やイベントを開催することができ、多くの市民がスポーツを楽しむ機会を提供することができた。 図書館のイベントでは基本的対策を実施した上で、昨年を超える実施回数と参加者を得ることができた。図書の貸出冊数は昨年度と比べて一般利用者では減ったものの、団体貸出は増やすことができた。 公民館農園事業は感染拡大防止策を講じたうえで実施した。
	<b>B</b>	概ね達成している	
	<b>C</b>	達成したとはいえ、改善する必要がある	
	<b>D</b>	達成できていない。又は事業に着手できていない。	
	<b>α</b>	コロナ禍における新たな取り組みとなっている。	
	—	評価なし	

<b>今後の事業展開</b>	<b>改善策【Action】</b>
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持） <input type="checkbox"/> 見直し（手法等） <input type="checkbox"/> 廃止（縮小）	<p>東京 2020 大会の開催で高まった市民のスポーツへの関心を継続させ、市民のスポーツ実施に繋がるよう、多様な世代がスポーツに触れ学び合える環境づくりを推進する。コロナ禍のなかで、読書を楽しむ方が増えていたが、行動制限の緩和から、貸出しが伸びなかったため、読書につながるようなイベントも含め、継続して実施する。公民館農園事業についても今後も継続して実施する。</p>

<b>施策の柱 1-3</b>	<b>共生社会における生涯学習の推進</b>	【担当：生涯学習課・ 図書館・公民館】
-----------------	------------------------	------------------------

<b>施策の説明</b>
<p>小金井市では、平成30年10月に「障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例」が施行され、生涯学習施策においても、共に学び生きる社会を目指した取組の推進が求められている。誰もが障がいについての理解を深め、また障がいなど自分の状況に応じた学習に取り組めるよう、学習と交流活動の推進を図る。また、年齢、性、国籍などに関わりなく、互いに理解し、尊重し合える社会の実現に向けて、各種講座や教室、交流機会の充実を図る。</p>

<b>令和4年度の目標【Plan】</b>
-----------------------

誰もが自分の状況に応じた学習に取り組めるよう、学習と交流活動の推進を図るとともに、障がいの有無、年齢、性、国籍などに関わりなく、互いに理解し、尊重し合える社会の実現に向けて、各種講座や教室、交流機会の充実を図る。

<b>令和4年度の取り組み【Do】</b>
-----------------------

- ・障がいのある人もない人もともに楽しめる「ボッチャ教室」及び「第3回小金井ボッチャ大会」、障がい者スポーツ等が体験できるスポーツフェスティバルを開催した。
- ・図書館ハンディキャップサービス…デジター図書を7タイトル、点字図書を3タイトル作成。対面朗読を2回、宅配サービスを85件実施
- ・公民館事業…青年学級は活動を制限し実施、生活日本語教室は新型コロナウイルス感染症対策継続のため中止

<b>令和4年度自己評価【Check】</b>
-------------------------

<b>A</b>	<b>A</b>	達成している	<b>評価の理由</b> 障がいのある人もない人もともに楽しめるスポーツや障がい者スポーツの普及啓発を通じ、共生社会の実現に向けた各種事業を実施することができた。デジター図書、点字図書の作成は例年と同水準を維持し、宅配サービスは利用件数も増加傾向にある。公民館事業は、感染拡大防止を念頭に置き、可能な範囲で活動を行った。
	<b>B</b>	概ね達成している	
	<b>C</b>	達成したとはいえ、改善する必要がある	
	<b>D</b>	達成できていない。又は事業に着手できていない。	
	<b>α</b>	コロナ禍における新たな取り組みとなっている。	
	—	評価なし	

<b>今後の事業展開</b>	<b>改善策【Action】</b>
----------------	--------------------

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持） <input type="checkbox"/> 見直し（手法等） <input type="checkbox"/> 廃止（縮小）	<p>今後も継続して障がいのある人もない人も楽しめるスポーツ（ユニバーサルスポーツ）や障がい者スポーツに触れ合えるよう機会を設け、共生社会の実現に向けた取組みを進める。また、デジター図書、点字図書の作成を引き続き継続できるよう、作成を依頼しているボランティア団体と緊密な連携を図る。一方でニューノーマルという考え方のもと、青年学級など、従来の方法での活動を一部改める必要がある。</p>
---	---

<b>施策の柱 1-4</b>	<b>「新しい日常、新しい生活様式」を 踏まえた学びの推進</b>	【担当：図書館・ 公民館】
-----------------	---------------------------------------	------------------

<b>施策の説明</b>
<p>新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、これまでのような形式での講座・教室の開催が難しくなる中、オンラインを活用した学習機会や学習情報の提供が必要となっている。</p> <p>また、オンラインによる学習は、時間や場所を気にせず取り組める一方、機器の利用に不慣れな方には、基本的な操作方法などを学んだり、相談する機会も必要である。</p> <p>誰もが、いつでも、どこでも安心して学習に参加できるよう、ICTを活用しながら多様な学習機会や学習情報を提供するとともに、様々なニーズに合わせた学習相談の場の充実を進める。</p>

<b>令和4年度の目標【Plan】</b>
<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を受けて、これまでのような形式での講座・教室の開催が難しくなる中、誰もが、いつでも、どこからでも安心して学習に参加できるよう、ICTを活用しながら多様な学習機会や学習情報を提供するとともに、様々なニーズに合わせた学習の場の充実を図る。</p>

<b>令和4年度の取り組み【Do】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館では電子書籍サイトの更新を頻繁に行い、電子書籍の利用について利用者に促した。</li> <li>また、包括的連携協力に関する協定を締結している“総合学院テクノスカレッジ”の学生に利用番号の付与を行ったことにより、電子書籍の貸出は、10,525タイトルとなった。</li> <li>・公民館では全館に設置したWi-Fi設備について、安定した利用を促した。</li> </ul>

<b>令和4年度自己評価【Check】</b>			
<b>A</b>	<b>A</b>	達成している	<b>評価の理由</b>  電子書籍の貸出タイトルは、前年度と比べて微増傾向にある。 公民館では設置したWi-Fi設備を利用し、公民館に来られない方への配信が可能となる、講座管理システムを導入した。
	<b>B</b>	概ね達成している	
	<b>C</b>	達成したとはいえ、改善する必要がある	
	<b>D</b>	達成できていない。又は事業に着手できていない。	
	<b>α</b>	コロナ禍における新たな取り組みとなっている。	
	<b>—</b>	評価なし	

<b>今後の事業展開</b>	<b>改善策【Action】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 拡充</li> <li><input type="checkbox"/> 継続（現状維持）</li> <li><input type="checkbox"/> 見直し（手法等）</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止（縮小）</li> </ul>	<p>図書館では、引き続き電子書籍の利用周知を広く市民へ実施する。公民館では、オンライン講座等の配信機材を導入し、拡大していく。</p>

## 施策の方向性2 地域と共につくる生涯学習

「地域学校協働活動」の実施や「コミュニティ・スクール」の設置といった新たな学校と地域連携の仕組みを活かしながら、これまで培われた地域の力を結集し小金井市らしい生涯学習活動の展開を図る。また、生涯学習を通じて、地域課題の解決に向けた学習や人材育成を行い、地域づくりを推進する。

また、市民一人ひとりがそれぞれの興味・関心に沿った学びを自由に展開するとともに、学びの成果を活かせるよう、発表や活用機会の充実を図る。

そして、地域の社会教育関係団体・スポーツ団体や大学・NPO法人などとの連携を通じて地域の豊かな活動を支援するとともに、市民の多様な学習ニーズに応じた学習機会の充実を図る。

### 《施策の方向性2の指標》

	計画策定時	目標 (令和7年度)
地域学校協働活動事業の実施校	1校 (令和2年度)	14校
放課後子ども教室の開催回数	837回 (令和元年度)	1,500回
週に1回以上スポーツを実施している市民の割合	52.6% (令和元年度)	65.0%

### 《現状値》

	令和4年度	前年度 (令和3年度)
地域学校協働活動事業の実施校	9校	4校
放課後子ども教室の開催回数	1,268回	623回
週に1回以上スポーツを実施している市民の割合	63.2%	54.5%

<b>施策の柱 2-1</b>	<b>学校・地域が連携した生涯学習活動の推進</b>	【担当：生涯学習課】
<b>施策の説明</b>		
<p>小金井市では、「コミュニティ・スクール」制度の導入や「地域学校協働活動」の取組の開始など、学校と地域が連携した学習活動を推進している。</p> <p>今後は、市内の全公立小・中学校において「コミュニティ・スクール」制度の導入や「地域学校協働活動」に取り組むことを目標とし、また、こうした新たな学校と地域連携の仕組みを活かしながら、小金井市らしい生涯学習活動の展開を図る。</p>		

<b>令和4年度の目標【Plan】</b>
<p>市内の全公立小中学校において「コミュニティ・スクール」制度の導入とともに「地域学校協働活動」に取り組み、子どもたちの放課後の居場所づくりの充実に向け、学校と地域が連携した生涯学習活動の推進を図る。</p>

<b>令和4年度の取り組み【Do】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域学校協働活動本部の設置…9校（第一小学校、第三小学校、第四小学校、東小学校、前原小学校、緑小学校、南小学校、第一中学校、南中学校）</li> <li>・ 地域未来塾の実施…4校（東小学校、緑小学校、前原小学校、南小学校） 延べ参加人数 2,584人</li> <li>・ 放課後子ども教室の実施…1,268回（令和3年度 623回）</li> </ul>

<b>令和4年度自己評価【Check】</b>			
<b>B</b>	<b>A</b>	達成している	<b>評価の理由</b> コミュニティスクール制度の導入に合わせ、予定通り地域学校協働本部の設置が進んだ。 放課後子ども教室については新型コロナウイルス感染症の影響が小さくなったことにより開催数、参加人数共に増となった（1,268回、108,601人）。
	<b>B</b>	概ね達成している	
	<b>C</b>	達成したとはいえ、改善する必要がある	
	<b>D</b>	達成できていない。又は事業に着手できていない。	
	<b>α</b>	コロナ禍における新たな取り組みとなっている。	
	<b>—</b>	評価なし	

<b>今後の事業展開</b>	<b>改善策【Action】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 拡充</li> <li><input type="checkbox"/> 継続（現状維持）</li> <li><input type="checkbox"/> 見直し（手法等）</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止（縮小）</li> </ul>	<p>地域学校協働活動は、令和5年度に市内全小中学校で開始される。公民館とも連携し、学校と、地域で活動している社会教育団体等がつながる仕組みづくりを構築していく。</p> <p>放課後子ども教室は、令和5年度には全校で週5日開催となり参加者増が見込まれる。</p>

<b>施策の柱 2-2</b>	<b>学びの継続と成果の活用の推進</b>	【担当：生涯学習課・公民館】
<b>施策の説明</b>		
<p>学びは、年代に関わりなく、人生に豊かさをもたらすだけでなく、何かを教える側に立つことで、新たな発見や出会いも生まれている。</p> <p>また、学習の成果は、自分のためだけでなく、身近の人や地域のために活かすことで、コミュニティ全体の活性化につながる。</p> <p>今後は、市民一人ひとりがそれぞれの興味・関心に沿った学びを自由に展開するとともに、学びの成果を活かせるよう、発表や活用機会の充実を図る。</p>		

<b>令和4年度の目標【Plan】</b>			
市民が学習の成果を活かし、また身近な人や地域のために還元できるよう、学習成果の発表や活用機会の充実を図る。			
<b>令和4年度の取り組み【Do】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・まなびあい出前講座の実施…14回 参加数329人</li> <li>・利用団体のつどい（公民館まつり）の実施…5館 来場者数2,497人 （全館共通のガイドラインを作成し、感染拡大防止を図って実施した。）</li> </ul>			
<b>令和4年度自己評価【Check】</b>			
<b>B</b>	<b>A</b>	達成している	評価の理由  まなびあい出前講座は、新型コロナウイルス対応のため人手が足りず講座を提供できない部署もあったが、下期申し込み件数が回復傾向となった。 利用団体のつどいは各館とも小規模ながら、公民館利用団体の熱意が感じられる事業だった。
	<b>B</b>	概ね達成している	
	<b>C</b>	達成したとはいえ、改善する必要がある	
	<b>D</b>	達成できていない。又は事業に着手できていない。	
	<b>α</b>	コロナ禍における新たな取り組みとなっている。	
	<b>—</b>	評価なし	

<b>今後の事業展開</b>	<b>改善策【Action】</b>
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持） <input type="checkbox"/> 見直し（手法等） <input type="checkbox"/> 廃止（縮小）	<p>まなびあい出前講座については、各担当部署に提供できる講座の内容を照会し、必要に応じて更新してもらうとともに、積極的に制度の広報、活用の拡充を図る。</p> <p>利用団体のつどいについては、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止策を取りながら、市民の学びの成果の発表の機会を確保する。また、飲食に係る制限が解除された場合は、模擬店も再開させ事業を盛り上げる。</p>

<b>施策の柱 2-3</b>	<b>地域団体や学校との連携による 学びの推進</b>	【担当：生涯学習課・ 図書館・公民館】
-----------------	---------------------------------	------------------------

<b>施策の説明</b>
<p>小金井市には、様々な社会教育関係団体、スポーツ団体がそれぞれの分野で活動しているのをはじめ、数多くの大学やNPO法人など、専門性の高い活動が活発に展開されている。今後も、こうした地域の豊かな活動主体の活動を支援するとともに、連携を通じて市民の多様な学習ニーズに応じた学習機会の充実を図る。</p>

<b>令和4年度の目標【Plan】</b>
<p>社会教育関係団体、スポーツ団体及び大学やNPO法人など、地域の豊かな活動主体の活動を支援するとともに、連携を通じて市民の多様な学習ニーズに応じた学習機会の充実を図る。</p>

<b>令和4年度の取り組み【Do】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育関係団体等への後援の実施…164件</li> <li>・NPO法人黄金井倶楽部に対し、財政的な援助、活動場所の提供、スポーツ事業の委託等を実施…各種事業参加者数14,344人</li> <li>・図書館では利用者の大学図書館利用のために紹介状を2件発行した。また、中学生の職場体験、高校生の校外学習、大学生インターンシップ生等、延べ38人を受け入れた。</li> <li>・公民館では東京学芸大学、東京農工大学と連携した成人大学講座を開催した。</li> </ul>

<b>令和4年度自己評価【Check】</b>			
<b>A</b>	<b>A</b>	達成している	<b>評価の理由</b>  総合型地域スポーツクラブ「NPO法人黄金井倶楽部」への支援を通じ、スポーツに関する多様なニーズに対応した事業を開催した。 今年度も大学図書館の学外利用はコロナ禍により、制限されていることから限定的な利用となった一方で、行動制限の緩和から体験学習の依頼を受けることができた。 成人大学講座は従来大学構内で実施しているが、構内の立入りが制限されたため、公民館での開催とした。
	<b>B</b>	概ね達成している	
	<b>C</b>	達成したとはいえ、改善する必要がある	
	<b>D</b>	達成できていない。又は事業に着手できていない。	
	<b>α</b>	コロナ禍における新たな取り組みとなっている。	
	<b>—</b>	評価なし	

<b>今後の事業展開</b>	<b>改善策【Action】</b>
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持） <input type="checkbox"/> 見直し（手法等） <input type="checkbox"/> 廃止（縮小）	<p>今後も継続してスポーツ関連団体の育成及び支援を行うとともに、指定管理者などの民間事業者や小金井市にゆかりのあるクラブチーム・アスリートとの連携を進め、学習機会の充実を図る。</p> <p>また、引き続き市内大学と連携し、市民の大学図書館利用を促進するとともに、体験学習の場としても受け入れを実施する。</p> <p>成人大学講座については今後は法政大学や東京工学院専門学校との連携も視野に入れて実施する。</p>

<b>施策の柱 2-4</b>	<b>郷土の歴史や芸術・文化に親しむ 機会の充実</b>	【担当：生涯学習課】
<b>施策の説明</b>		
<p>小金井市は、史跡や文化財、郷土芸能をはじめ、数多くの郷土資源に恵まれています。こうした地域の歴史と文化を記録・保存するだけでなく、身近に触れ親しみながら、次世代に継承していくことが重要である。</p> <p>今後は、郷土文化に関する情報発信の充実を図るとともに、身近に親しむ機会づくりを進める。</p>		

<b>令和4年度の目標【Plan】</b>			
<p>史跡や文化財及び郷土芸能をはじめとした数多くの郷土資源を活用し、伝統文化や芸能の継承をはじめ、郷土文化に親しむ機会づくりの充実に努める。</p>			
<b>令和4年度の取り組み【Do】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市史編纂資料第62編」「文化財ブックレット2」の刊行</li> <li>・市内小学校における学芸員職員による出前授業の実施</li> <li>・No. 22遺跡、貫井遺跡の遺跡見学会の実施等の普及啓発</li> </ul>			
<b>令和4年度自己評価【Check】</b>			
<b>A</b>	<b>A</b>	達成している	<b>評価の理由</b>  新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う制約の下ではあったが、文化財講演会や地域史講座等、予定していた行事について無事全て実施できたほか、市史編さん事業においては「市史編纂資料第62編」「文化財ブックレット2 発掘された小金井」が刊行でき、普及啓発においても、市内小学校における学芸員職員による出前授業No. 22遺跡、貫井遺跡の遺跡見学会を実施することができた。
	<b>B</b>	概ね達成している	
	<b>C</b>	達成したとはいえ、改善する必要がある	
	<b>D</b>	達成できていない。又は事業に着手できていない。	
	<b>α</b>	コロナ禍における新たな取り組みとなっている。	
	—	評価なし	

<b>今後の事業展開</b>	<b>改善策【Action】</b>
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持） <input type="checkbox"/> 見直し（手法等） <input type="checkbox"/> 廃止（縮小）	<p>事業・イベントの実施に際しては、長きに渡り新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を色濃く受けてしまったが、令和4年度は久しぶりに予定していた事業・イベントについて無事全て実施することができた。</p> <p>今後は、より一層の普及啓発を推進していくための新たな取組として、近隣市と連携した事業・イベントの開催について検討していきたい。</p> <p>また、ソフト面、ハード面の両面において文化財センターのあり方についての考え方を整理し、文化財の適正な保護に資する必要がある。</p>

### 施策の方向性3 生涯学習のネットワークづくり

地域の多様な活動を支える人材育成に向けた支援を行うとともに、活動の活性化に向けた連携など環境整備を図る。

また、誰もが身近な場所で多様な生涯学習活動を展開できるよう、図書館・公民館・スポーツ施設等の充実を図るとともに、生涯学習情報の集約・発信等を行う生涯学習センター機能の充実を図る。

そして、生涯学習に関する必要な情報が手軽に入手できるよう、情報発信場所や発信方法を工夫するとともに、関係機関・団体等と連携し、気軽に相談できる体制の充実を図る。

#### 《施策の方向性3の指標》

	計画策定時	目標 (令和7年度)
生涯学習に関わる小金井市公式 ツイッターのフォロワー数	790件 (令和3年1月)	950件
社会教育関係団体数	105団体 (令和元年度)	130団体
図書館の登録者数	38,161人 (令和元年度)	40,000人
公民館の使用団体数	1,660団体 (令和3年1月)	1,735団体

#### 《現状値》

	令和4年度	前年度 (令和3年度)
生涯学習に関わる小金井市公式 ツイッターのフォロワー数	1,472件	1,157件
社会教育関係団体数	103団体	97団体
図書館の登録者数	38,035人	38,414人
公民館の使用団体数	1,712団体	1,705団体

<b>施策の柱 3-1</b>	<b>支援者の人材育成とコーディネーター機能の充実</b>	【担当：生涯学習課・図書館・公民館】
<b>施策の説明</b>		
<p>地域では、様々な団体・グループが地域活動や学習活動を展開していますが、活動を活性化させるために、多様な人材が興味をもち、関わっていくことが重要である。また、活動をけん引するリーダーの育成も必要となる。</p> <p>活動を支える人材の育成に向けた支援を行うとともに、活動のための環境整備を図る。また、市外の様々な機関、施設等との広域連携の推進を図る。</p>		

<b>令和4年度の目標【Plan】</b>			
<p>地域で生涯学習活動を支える地域人材の育成を図るとともに、活動をけん引するリーダーの育成に努める。また、施設の相互利用など、近隣市との交流・連携や、友好都市と文化交流など、市外との広域連携の推進を図る。</p>			
<b>令和4年度の取り組み【Do】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・(国分寺市、小平市、小金井市、東京学芸大学連携事業) ボランティアセミナーの開催…16回 延べ参加者数491人</li> <li>・地域のスポーツ事業に係る連絡調整及びスポーツの実技指導等を担う「小金井市スポーツ推進委員」を育成するため、研修機会の提供や各種研修会への参加を促した(参加者延べ78人)。また、研修会等で得た技能や知識を活用する機会として、「ボッチャ教室」「小金井ボッチャ大会」を開催するとともに、「東京都市町村ボッチャ大会」に推進委員を派遣した。</li> <li>・音訳講習会の実施(5回)、おはなし会ボランティア向けのスキルアップ講座の実施(参加者数10人)。また、小平市との図書館相互利用協定を締結し、令和5年5月24日から小平市立図書館利用カードの作成が可能となった。</li> <li>・(図書館公民館の連携事業) きたまちYAサポーター・きたまちYAひろばの開催</li> </ul>			
<b>令和4年度自己評価【Check】</b>			
<b>A</b>	<b>A</b>	達成している	<b>評価の理由</b> ボランティアセミナーは、対面講座及びオンデマンド講座を開催した。スポーツの各種イベントにおいて、スポーツ推進委員が指導や審判などを務め、研修会で得た技能・知識を活用した。図書館ではコロナ禍の行動制限の緩和により、音訳講習会を実施することができた。YA対象のイベントは感染症対策を講じながら6回開催した。
	<b>B</b>	概ね達成している	
	<b>C</b>	達成したとはいえ、改善する必要がある	
	<b>D</b>	達成できていない。又は事業に着手できていない。	
	<b>α</b>	コロナ禍における新たな取り組みとなっている。	
	—	評価なし	

<b>今後の事業展開</b>	<b>改善策【Action】</b>
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> 見直し(手法等) <input type="checkbox"/> 廃止(縮小)	<p>引き続き研修機会の提供や各種研修への参加を促すとともに、市民が研修会等で得た技能や知識を活用する機会を確保する。</p> <p>ハンディキャップサービスやおはなし会を担う人材の育成とフォローアップは引き続き実施する。</p>

<b>施策の柱 3-2</b>	<b>社会教育施設等の活用の推進</b>	【担当：生涯学習課・ 図書館・公民館】
<b>施策の説明</b>		
<p>様々な社会教育施設が市内各所に設置され、目的に応じて市民に利用されている。</p> <p>今後も、身近な場所で多様な生涯学習活動を展開できるよう、図書館・公民館・スポーツ施設等の充実を図るとともに、学習活動に関する情報を入手したり、協働による学習活動が実現するよう生涯学習センター機能の充実を図る。</p>		

<b>令和4年度の目標【Plan】</b>			
<p>図書館や公民館、スポーツ・レクリエーション施設などの既存の社会教育施設等の有効活用を推進し、施設・設備の整備充実を図る。また、生涯学習に関する情報の収集及び発信などの生涯学習センター機能の整備の推進を図る。</p>			
<b>令和4年度の取り組み【Do】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの市民が社会教育施設を継続して利用できるよう、個別施設計画等に基づき、施設の修繕や計画的な改修工事を実施した（総合体育館大規模改修工事・清里山荘浄化槽修繕・文化財センター展示室照明 LED 化、図書館エレベーター修繕、地階漏水修繕、業務用放送設備入替え）。</li> <li>文化財センター…企画展「梶家の絵図」及びセンター通信「小金井の湧水点 part3」等で新資料の紹介・調査成果を発信した。</li> </ul>			
<b>令和4年度自己評価【Check】</b>			
<b>B</b>	<b>A</b>	達成している	<b>評価の理由</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>清里山荘利用者数…9,067人</li> <li>文化財センター利用者数…3,712人</li> <li>スポーツ施設（総体・栗山・上水・テニス）利用者数…350,410人</li> <li>図書館利用者数（資料の貸出を行った方）…243,735人</li> <li>公民館登録団体数…1,712団体</li> </ul>
	<b>B</b>	概ね達成している	
	<b>C</b>	達成したとはいえ、改善する必要がある	
	<b>D</b>	達成できていない。又は事業に着手できていない。	
	<b>α</b>	コロナ禍における新たな取り組みとなっている。	
	—	評価なし	

<b>今後の事業展開</b>	<b>改善策【Action】</b>
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持） <input type="checkbox"/> 見直し（手法等） <input type="checkbox"/> 廃止（縮小）	<p>市民が社会教育施設を安心して快適に利用できるよう、各施設の修繕を計画的に実施する。</p> <p>文化財センターは、収蔵資料の適正管理及び関心を呼び込む工夫や検討が必要である。図書館は、個人登録要件の見直しとコロナ禍の行動制限緩和により前年度に比べ貸出冊数、利用者数、登録者数が減少傾向となったため、引き続き読書を楽しむ利用者が増えるよう講演会や読書会等を継続して実施する。公民館は、社会教育活動以外の利用の取扱いや、有料化に向けた適正な団体登録のあり方を検討する必要がある。</p>

<b>施策の柱 3-3</b>	<b>情報発信・相談体制の充実</b>	【担当：生涯学習課・ 図書館・公民館】
<b>施策の説明</b>		
<p>生涯学習に関する情報が世代など状況に応じて得やすい形で提供されることが重要である。生涯学習を既に行っている人も、これから行おうとする人も、必要な情報が手軽に入手できるよう、情報発信場所や発信方法の工夫と充実を図る。</p> <p>また、市民や団体の、様々な学習や生活上の不安・悩みの解決に向けて、気軽に相談できるよう、関係機関・団体等と連携し、相談体制の充実を図る。</p>		

<b>令和4年度の目標【Plan】</b>			
<p>生涯学習に関する必要な情報が手軽に入手できるよう、情報発信場所や発信方法の工夫と充実を図る。また、市民や団体の、様々な学習や生活上の不安・悩みの解決に向けて、気軽に相談できる体制づくりを推進する。</p>			
<b>令和4年度の取り組み【Do】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各担当で、講座・講演会等の情報やコロナ対策の情報をツイッター等を活用し発信した。</li> <li>・図書館レファレンスサービス（調べもの支援）…6,813件対応</li> <li>・公民館パソコン相談室…新型コロナ感染症拡大防止策を講じたうえで実施するとともに、ITボランティア主導による講座を実施した。</li> </ul>			
<b>令和4年度自己評価【Check】</b>			
<b>B</b>	<b>A</b>	達成している	<b>評価の理由</b>  図書館、公民館では、講座、講演会、読書会等開催の際にはホームページ更新と同時にツイッターを投稿している。  図書館のレファレンスサービスは、簡易な資料検索も含め積極的に対応している。 市ホームページの生涯学習情報コーナーについては、情報の一元化やPRなどさらなる改善が必要である。
	<b>B</b>	概ね達成している	
	<b>C</b>	達成したとはいえ、改善する必要がある	
	<b>D</b>	達成できていない。又は事業に着手できていない。	
	<b>α</b>	コロナ禍における新たな取り組みとなっている。	
	—	評価なし	

<b>今後の事業展開</b>	<b>改善策【Action】</b>
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持） <input type="checkbox"/> 見直し（手法等） <input type="checkbox"/> 廃止（縮小）	<p>生涯学習に関する情報を、引き続きホームページの更新と合わせ、ツイッターでも発信する。</p> <p>図書館のレファレンスサービスも、資料を探している利用者への声掛けを含め、継続して実施する。</p> <p>公民館のパソコン相談室及びICT講座については、引き続き利用者のニーズに対応した事業実施を図る。</p> <p>市民が必要な情報を検索、入手しやすいよう生涯学習情報コーナーの充実を図る。</p>



令和5年度第4回  
社会教育委員の会議資料

令和5年8月21日  
生涯学習部生涯学習課

全国大会参加団体への補助金交付について

- 1 団体名 小金井ハンドボールクラブ
- 2 大会名 第36回全国小学生ハンドボール記念大会
- 3 開催日 令和5年8月2日（水）～ 同年8月6日（日）
- 4 開催場所 京都府京田辺市
- 5 種 目 ハンドボール
- 6 交付予定額
  - (1) 対象経費 876,500円（大会参加費、交通費、宿泊費）
  - (2) 申請額 200,000円
  - (3) 交付予定額 200,000円

## 全国大会等に参加する団体への補助金交付事務取扱基準

- 1 目的：優秀な成績を収めた、優れた団体の負担を軽減し、健全な団体を育成し積極的な活動を支援するために補助金を交付する。
- 2 資格：(1) 団体構成員は、2分の1以上が小金井市内の在住、小金井市立  
在學生で構成されていること。  
(2) 団体構成員は、小学校児童、中学校生徒で構成されていること。
- 3 補助対象経費：大会等に参加する旅費、大会参加費（ただし、飲料、給食、  
懇親会費用、参加賞費用、保険料を除く）。
- 4 大会等の規模：予選会などが実施され、優秀な成績を収め、全国大会等の  
参加資格を得た、全国規模の大会等であること。
- 5 補助金交付額：補助対象経費の2分の1を限度とし、20万円を上限とする。

令和 5 年 8 月 2 1 日

## 第 31 期小金井市社会教育委員の会議のまとめ

### 〈地域学校協働活動について〉

第 4 次生涯学習推進計画 5 年間（令和 3 年度～7 年度）が策定され、2 年目を迎えました。本推進計画の 3 つの方向性、「誰もが生涯学習に親しむ環境づくり」「地域と共につくる生涯学習」「生涯学習のネットワークづくり」、および基本理念の「学びでつながる笑顔のまち小金井～さあ、動き出そう！人生 100 年時代～」の実現化を図るべく、本市の社会教育事業について、地域学校協働活動の推進を中心に検討しました。学校と地域が連携した生涯学習事業である地域学校協働活動について、3 年間（令和 2 年度～4 年度）の成果、および小金井市立小中学校の地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の委嘱状況と活動状況の成果について話し合いました。

### 〈東京都市町村社会教育連絡協議会（略称：都市社連協）の活動について〉

第 5 ブロック研修会「令和 3 年度：幹事市・狛江市」および「令和 4 年度：幹事市・武蔵野市」に、参加しました。令和 3 年度は、深大寺住職の張堂興昭講師が、「住職が思う、コロナ禍における生活様式の変化」というテーマの基調講演を行い、その後のワークショップでは、オンラインでの社会教育事業の是非を問う内容を議論しました。令和 4 年度は、「市民のニーズを活かす・つなげる“学びおくり”のいま～社会教育にできること～」をテーマとして、幹事市より第二期武蔵野市生涯学習計画について説明と事例報告があり、テーマについてワールドカフェ方式で話し合いを行いました。狛江市・武蔵野市・三鷹市・調布市・府中市の社会教育委員と意見交換を行い、交流を図ることができました。

### 〈管外視察研修について〉

令和 4 年度は、三鷹市教育センターと三鷹市立第六小学校を訪問しました。三鷹市の小中一貫のコミュニティ・スクールの取組みや「学校 3 部制」について、および地域学校協働活動事業の第四中学校で実施されるジュニアビレッジ事業について学びました。また、第六小学校では、地域の子どもクラブ活動の紹介と放課後子ども教室を視察しました。

令和 5 年度は、西東京市立明保中学校と小平市なかまちテラスを訪問しました。明保中学校では、小平市の地域学校協働活動について、市の担当職員、統括コーディネーター、明保中学校のコーディネーターから、これまでの取組みの状況や課題等を聴き、意見交換を行いました。なかまちテラス（公民館と図書館の複合施設）では、地域の高校生と図書館との協働事業について学び、施設を見学しました。

### 〈来期の委員の方へ〉

- 第 32 期では、「第 4 次小金井市生涯学習推進計画」を踏まえて、市民の生涯学習の環境づくりについて、より具体的に検討していただきたいと思います。
- 小金井市の小中学校の全校で、「地域学校協働活動事業」を開始しますので継続的に支援して下さい。地域と学校の連携を、社会教育委員の立場からどのように実践できるかを、検討していただきたいと思います。
- 小金井市は、都市社連協副会長市になっています。研修会などへの全員の参加を要望します。

2023年7月5日

# 報告書

福井高雄

## 令和5年度 社会教育委員会の会議 『視察研修』

日時：2023年7月5日（水） 12:50～17:10 （マイクロバス利用）  
参加者：社会教育委員：柴田・福井・石原・森本・諏訪・鈴木・北澤・金澤  
職員：梅原・鈴木・内田 （合計11名）

- (1) 『視察研修先』 【西東京市立 小学校18校・中学校9校】

### 西東京市明保中学校

〔目的〕 地域と学校との連携の活動状況を学ぶ。

〔挨拶〕 吉田 泰一 （西東京市教育部社会教育課 課長）

- ・ 西東京市立小・中学校27校＝地域学校協働活動：16校、コーディネーター21名
- ・ 令和3年（2021年）7月より、コミュニテースクール地域学校協働活動をスタート

〔概要説明〕 斎藤 （西東京市教育部社会教育課社会教育主事、コーディネーター）

- ・ 小学校の方が積極的に活動。活動事例としてのスポーツや企業との取り組みを紹介。

〔事例発表〕

小 野：地域学校協働活動のコーディネーターは、卒業生が多い。担い手不足が課題。

長谷川：けやき小学校の地域学校協働活動として、「けやき応援団通信」の事例発表。

〔研修〕 澤井 稔 （西東京市立明保中学校 校長）

- ・ 活動方針：① 中学生が主体、② 協力者の確保、③ 情報発信。

- (2) 『視察研修先』 【小平市立 小学校19校・中学校8校】

### 小平市なかまちテラス （仲町図書館、仲町公民館）

〔目的〕 家庭・地域・学校の連携により、生涯学習の振興と地域の活性化を図ることを学ぶ。

〔概要説明〕 2015年3月14日に、図書館・公民館の生涯学習複合施設として開設。

- ・ せじまかずよ 妹島和世（著名な建築家）が設計。網目状の外観の建物（地上3階・地下1階）

〔事例〕 小山 誠 （小平市仲町図書館 館長）

- ・ 1975年、小平市図書館として開設。蔵書6.8万冊。職員12名。

杉 山：中高生が「ティーンズ委員会」を設置し、おすすめの本の受賞を選び著者との交流。

中村 和幸 （小平市仲町公民館 館長）

- ・ 52の利用団体と一緒に、「テラスまつり」（図書館と協働）を開催。

館長の案内にて、テラス館内を視察するがユニークな建築設計に感嘆の声。 以上